

## 今日のみ言葉 262 「あなたは多くの災いと苦しみを」 2016. 8. 10

あなたは多くの災いと苦しみをわたしに思い知らせられました  
再び命を得させてくださり、  
地の深い淵から  
再び引き上げてくださいます。(詩篇71の20)

You have shown me much misery and hardship,  
but you will give me life again,  
You will raise me up again from the depths of the earth.

この世では、苦難がある(ヨハネ16の33)  
一主イエスは最後の夕食の席でこう言われた。信仰を与えられていても、苦難、悲しみ、悩みが消えるわけではない。そうしたことが生じないということでもない。しかし、それらに勝利していくことができる。主は、そのための力を与え、主の平安を与えると約束してくださっている。  
この詩篇の言葉は、この作者の現実の体験と信仰、希望を語りつつ、はるか後に現れる完全な勝利者であるキリストのことを預言的に言っているとも受けとることができる。

詩篇はしばしば預言である。詩篇に収録された詩が書かれてから数千年を経た現代の私たちの魂の奥深くに生じることをも見抜いたうえで書かれている一と感ずることがじつに多い。それは、こうした詩の作者の背後に神がおられて、導いているからである。

人間の言葉でありながら、神がその詩人に語らせているという側面がある。この世では、病気や事故、災害などからくる苦しみだけでなく、さまざまの領域における人間関係によって苦しみは生まれる。それは家族のような最も身近な関係であっても時には大いなる悩みや悲しみのもとになる。

あるいは、事故、災害、職業の問題、私たちが犯してしまうさまざまの真実に反する言動—そこからくる苦しみ。それがひどいときには、この詩にあるように、地の深い淵、闇のなかに沈んでしまう、もう死んでしまいたいと思うような—旧約聖書のヨブ記にも記されている—耐えがたい状況となることがある。それはこの詩の作者やまたそれ以後の無数の神を信じる人たち、キリスト者の人たちに—とくに迫害の時代には、じっさいに生じてきたことである。

しかし、そうした闇に苦しむ人たちは、この詩にあるような確信が与えられたことによってそのような状況を通り抜けていくことができた。私たちがまた、ただ幼な子のように神を仰いですべてを御手に委ねるときには、こうした確信を与えられるのだとこの詩は指し示している。



このエゾツツジは、樹木でありながら、このように10～30cmという高さで、火山岩の石ばかりのような場所に美しい花を咲かせます。

このツツジは、アジア北東部とアラスカ、日本では本州北部（早池峰山・岩手山・秋田駒ヶ岳）と北海道の高山という寒冷地に分布するもので、冬の大量の雪、氷点下数十度という厳しい寒さとはげしい風に耐えて生き延びている植物なのです。その環境の過酷さのために、このような小さな丈の植物となっています。

同じツツジでも、徳島県の高越山（こうつざん 標高1133m）には、高さ6m、樹齢400年にもなるという大きなツツジ群落があり、これは西日本最大とのことで天然記念物にも指定されています。また、市街地の道路際に植栽されているヒラドツツジのような都会の車や人間と同居して生きているツツジもあり、釣鐘形のドウダンツツジの仲間など、同じツツジでもさまざまなものがあります。

このエゾツツジは、岩ばかりのような大地にしっかりと根を降ろして、色彩のはっきりした美しい色合いの花を咲かせます。草のように小さく、手でも抜き取られそうなほど弱々しくみえるのですが、そこにほかのツツジ類では到底耐えられない厳しい環境に耐える強靱さを秘めているのです。

聖書には、「力は弱さの中でこそ、十分に発揮される」（Ⅱコリント12の9）とありますが、こうした高山に咲く植物のことにあてはまるように思います。

（文、写真ともT. YOSHIMURA）